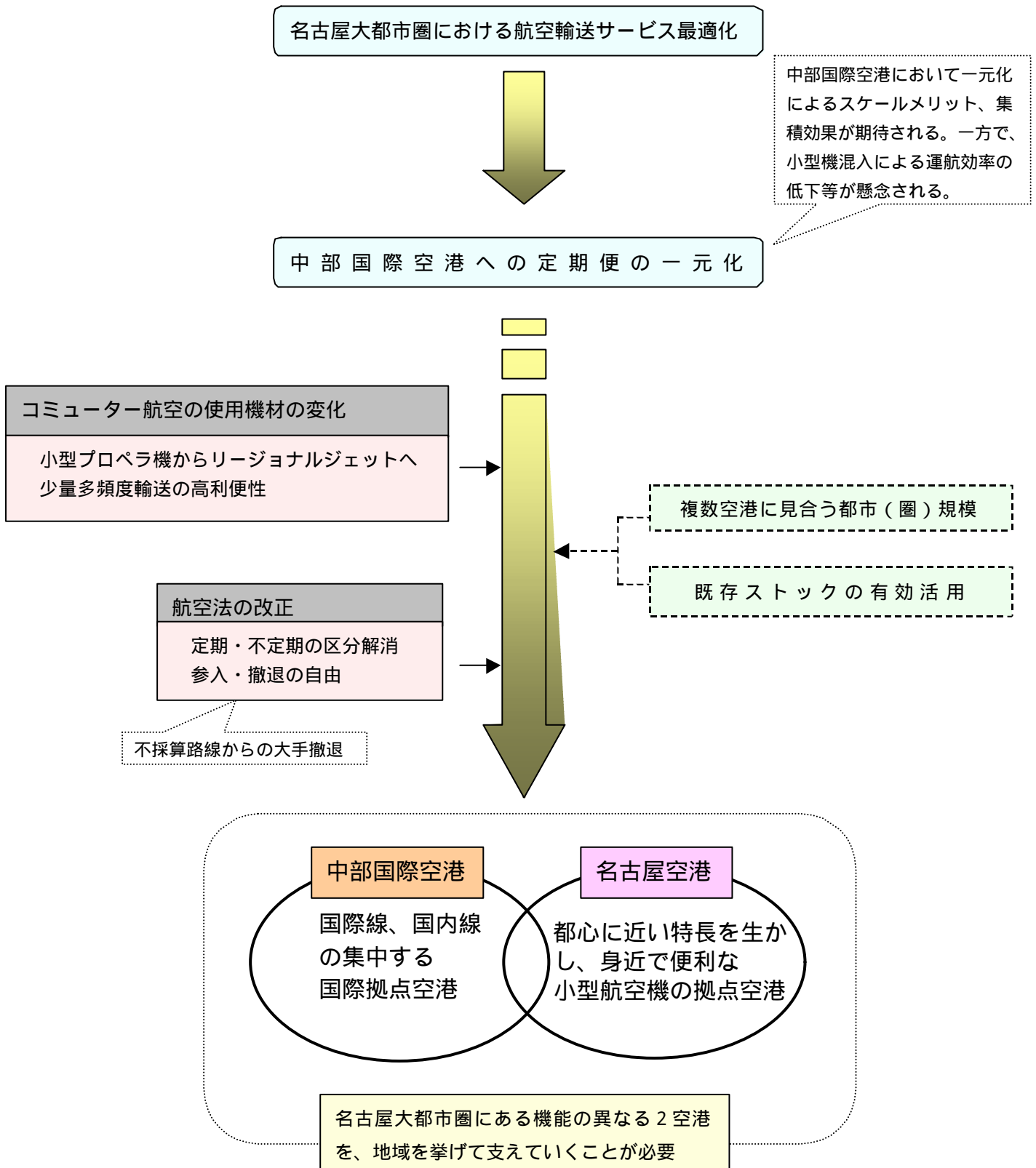
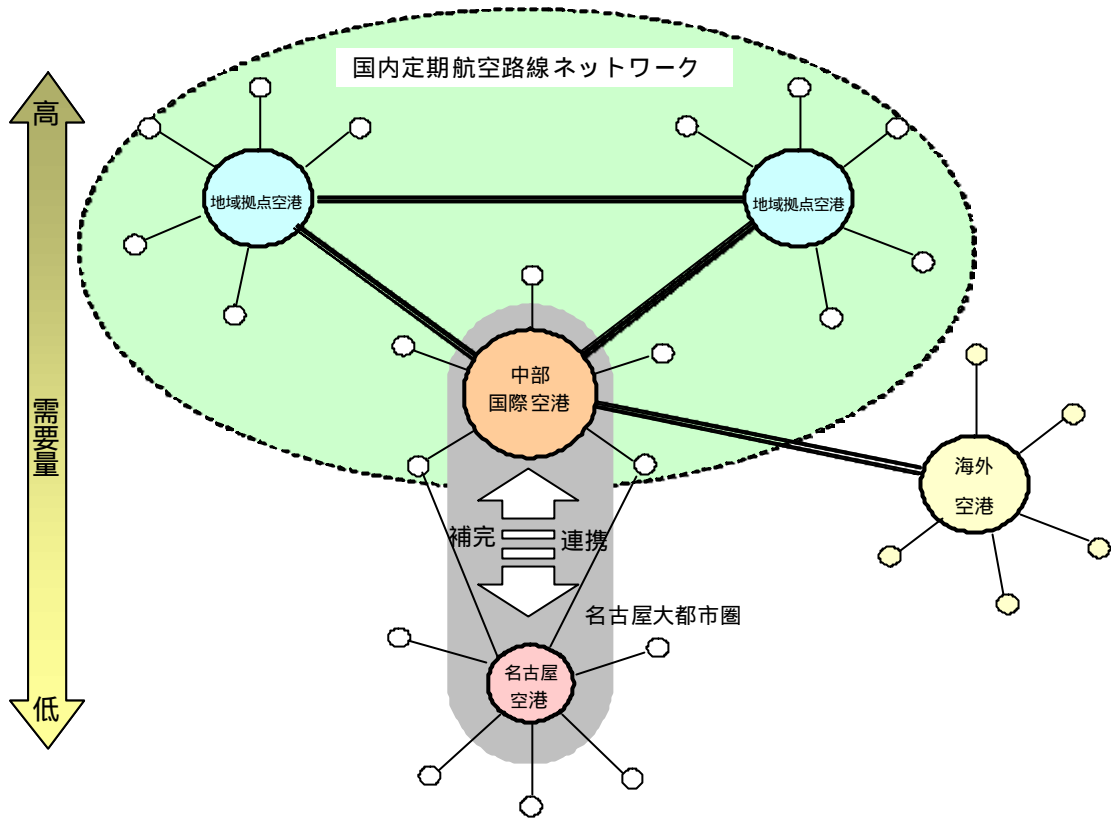


2. 新展開のコンセプト

2-1 中部国際空港との相関関係

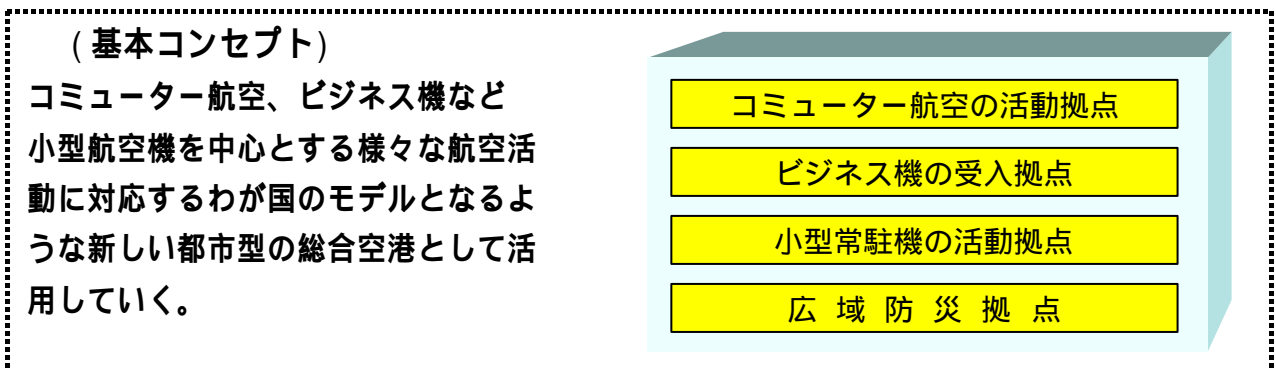
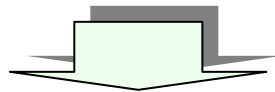
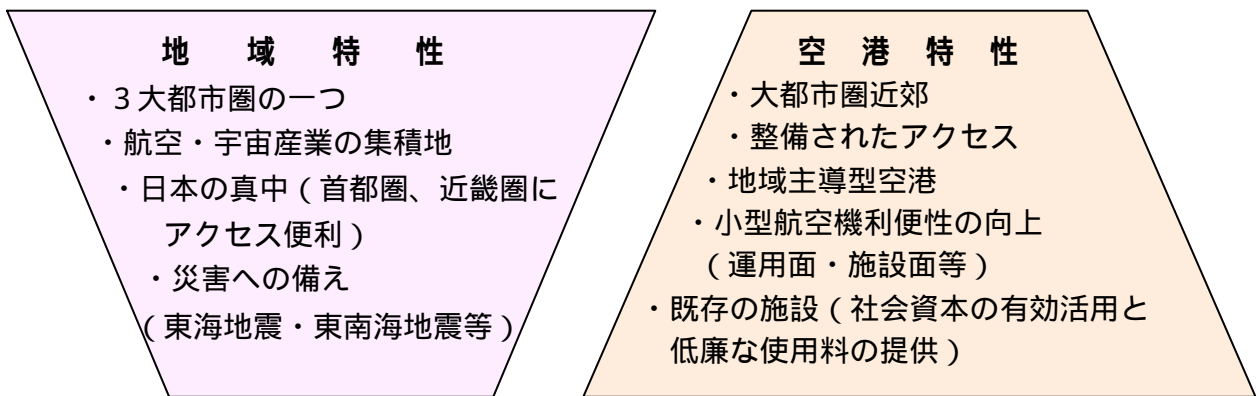
名古屋大都市圏に性格の異なる2つの空港が存在し、両空港がそれぞれの航空ネットワークを構築することにより積極的に航空輸送サービスの最適化を図り、両空港が異なる機能を果たしながら、連携・補完して名古屋大都市圏の発展に寄与していく。





2 - 2 名古屋空港の基本コンセプト

名古屋空港新展開の意義、優位性、中部国際空港との相関関係などを踏まえ、以下のような基本コンセプトとする。



新展開後の名古屋空港で取扱うコンピューター航空について

運輸省航空局長通達「二地点間旅客輸送の実施承認基準について」(昭和60年12月26日)で、60席以下の小型機を使用して反復継続して行われる旅客輸送を「不定期航空運送事業」として取り扱うこととされ、コンピューター航空は定期航空運送と区別されていた。

このため、平成8年12月に閣議決定された第7次空港整備5箇年計画の「中部国際空港における定期航空路線の一元化」には、コンピューター航空は含まれないものとされてきた。

その後、平成12年2月に規制緩和を大幅に盛り込んだ改正航空法が施行されたことにより、定期・不定期の区別が撤廃されたが、現在、コンピューター航空の定義が定かでない状況に鑑み、第7次空整で定期航空路線一元化の範疇外とされている60席以下のコンピューター航空機の取扱いを名古屋空港新展開の基本としていくものとする。

なお、将来的に機材性能の向上や航空会社による航空機材の更新などが考えられ、旅客の利便性、航空会社の投資・経営効率化などを踏まえてコンピューター航空の取扱いを検討していく必要がある。

新展開を表すキーワードとネーミング

GAというキーワードはわかりにくいなどの理由により空港のコンセプトを表現するキーワードを検討したところ、都市近郊にあるという特長や新展開後の名古屋空港における航空活動がコンピューター航空、ビジネス機、広域防災拠点など多岐にわたることなどから、その基本コンセプトを踏まえ、名古屋空港の新展開として「都市型総合空港」を目指していくこととする。

GA空港  都市型総合空港

なお、新展開後の空港の正式名称は、空港の設置許可申請までに決める必要があるが、慣れ親しんだ名称である「名古屋」を残してほしいという地元の意見なども踏まえ、関係者間で調整を図りつつネーミングを検討していく。

(例)

名古屋

+

空港

都市総合空港

地域空港

シティエアポート

アーバンエアポート

メトロポリタンエアポート